

2021年9月6日

MC-21065

各位

一般財団法人 中東協力センター
常務理事 田村 満夫



「中東情勢／実務セミナー」ウェビナー開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊センターの事業活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

中東・北アフリカ各国においても、新型コロナウイルスワクチンの接種が進展する一方で、変異株を含む感染の波が断続的に押し寄せ、特に最近のデルタ株は、国によって感染者の激増、医療体制の圧迫と受けられる医療サービスの制約を招いています。こうした中で、医療サービスが既に制約されてしまっている国、あるいは感染症専門医による助言・診察がなかなか得られない国に駐在される企業関係者およびそのご家族の不安はひとしおであると思います。

このため、弊センターでは、再び第一線の医療専門家のご協力を得て、新型コロナウイルス変異株の脅威と駐在員およびそのご家族の安全に関するセミナーを開催することと致しました。デルタ株の脅威の実態、ワクチン接種に関するさまざまな課題、重症化リスクの把握と重症化防止等のトピックについて、専門家により集中的にご講演いただく予定です。

ご多忙のこととは存じますが、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

1. テーマ：「新型コロナウイルス変異株の脅威と、駐在員および家族の安全」（内容別添①参照）
2. 日 時：2021年10月5日（火） 15：00 ～ 17：40（予定） 講師紹介、講演（質疑応答含む）
3. 配信システム：Zoomを使用
*収録したセミナーのオンデマンド配信を1か月間配信します。
4. 講演者：館田 一博 氏（日本感染症学会 前理事長／東邦大学医学部 教授）
大曲 貴夫 氏（国立国際医療研究センター 国際感染症センター長）
氏家 無限 氏（国立国際医療研究センター 国際感染症センター
トラベルクリニック医長/予防接種支援センター長）
*各講演者の略歴は別添②をご参照ください。
5. 参加費：賛助会員および駐在員のご家族（1名まで）：無料
非会員：1,000円（消費税込み）
※支払締切日：9月30日（木） 17時（日本時間）
※賛助会員企業リスト URL：<http://www.jccme.or.jp/japanese/02/02-05.html>

◆お支払い方法：銀行振込もしくはクレジットカード決済に限定させていただきます。現金は受領いたしませんので予めご了承ください。

【銀行振込】

口座名：一般財団法人 中東協力センター ザイ) チュウトウキョウリョクセンター
みずほ銀行 (0001) 東京中央支店 (110) 普通預金 0710558
三井住友銀行 (0009) 神保町支店 (001) 普通預金 2081772
三菱UFJ銀行 (0005) 本店 (001) 普通預金 5270867

※恐れ入りますが、振込手数料は全て貴社にてご負担下さいますようお願い申し上げます。

【クレジットカード決済（VISA、Mastercardのみ）】

参加申し込み後に事務局よりカード決済用 URL リンクをお送りいたします。

6. お申込み：以下のリンクからお申込みください。（締切：9/30（木）日本時間 12 時）
<https://forms.gle/5vRxcGJtwv2MUe329>
7. 講演者へのご質問は以下のリンクからご入力ください。（締切：9/30（木）日本時間 17 時）
<https://forms.gle/pEcBQrK3VYSXyRKg7>
8. 問合せ先：
一般財団法人中東協力センター 担当：和山、倉持
TEL：03-3237-6722 E-mail：course@jccme.or.jp

以上

講演の中で触れられるトピックは以下のとおりです。

ただし、今後の状況の変化に応じ、一部変更になる可能性もあります。

【講演1】 15:00-15:50 (Q&A 含む)

日本感染症学会 前理事長 東邦大学医学部 教授 舘田 一博 様

I. 変異株、特にデルタ株の脅威、後遺症、ワクチン接種の意義について

- (1) 最近の感染者中の変異株割合—特に、デルタ株
- (2) デルタ株
 - ①デルタ株の感染「力」に関する最新の知見
 - ②デルタ株感染の場合の重症化リスクの差異
- (3) 後遺症
 - ①後遺症に関する知見の集積
 - ②後遺症に対する治療と効果
- (4) ワクチン接種の意義
 - ①ブレークスルー感染の状況
 - ②ワクチン接種による、(感染防止はさておき) 発症抑止、重症化リスク低減を示すデータ
 - ③ワクチン接種と後遺症の関係について、知見の有無

II. mRNA ワクチンの作用機序/接種に当たっての注意事項

- (1) mRNAワクチンの作用機序
- (2) 接種に当たっての注意事項
 - ①接種が不適当な場合 (延期すべき場合を含む)
 - ②接種に注意を要する場合
- (3) デルタ株の蔓延を踏まえた、ワクチン接種後の心得

【講演2】 15:55-16:45 (Q&A 含む)

国立国際医療研究センター

国際感染症センター 予防接種支援センター長 氏家 無限 様

III. ワクチン接種に関する各論

- (1) 重篤な副作用を招く因子
 - ①体の状態
 - ②ワクチン成分に対する重度の過敏症の既往歴
 - ③基礎疾患
- (2) 2回接種ワクチンの接種間隔
 - ・接種間隔を長くした方が中和抗体の産生量が増えるという報告について
- (3) 罹患者のワクチン接種
 - ①罹患した駐在員が軽症で済んだ場合の、ワクチン接種の必要性
 - ②接種した方がよい場合の時期、接種回数
- (4) ブースター接種等
 - ①デルタ株に対応するためのブースター接種の必要性の有無
 - ②接種後数カ月での中和抗体減少に伴うブースター接種の必要性の有無

- ③有効性の低いワクチン接種後、ファイザー等のワクチン接種を受けることについて
- (5) 妊娠中のワクチン接種
 - ①妊娠中のワクチン接種による胎児への影響の有無
 - ②妊娠の期間/週数とワクチン接種の適否
- (6) 未成年者・小児へのワクチン接種
 - ①18歳未満層のワクチン副反応
 - ②小学生に接種するワクチンの量
- (7) ワクチンの種類とデルタ株への有効性
- (8) ワクチン接種に関して相談できる「かかりつけ医」がない場合の照会先

【講演3】 16:50-17:40 (Q&A 含む)

国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 大曲 貴夫 様

IV. 重症化リスクの把握と重症化防止

- (1) TARC試薬等の活用による重症化リスク把握と入院管理
 - ・海外で近い将来導入される可能性の有無
- (2) デルタ株の「脅威」
 - ①重症化率
 - ②死亡率
 - ③子供の入院
 - ④基礎疾患を有する子供への影響
- (3) 自宅療養となった場合の注意事項
 - ①備えるべき/備えられるもの (含 パルスオキシメーター)
 - ②緊急時サービスの利用
 - ③罹患者の注意事項 (適度な運動、水分補給による血栓防止、等)
 - ④家庭内感染の防止策
- (4) 海外駐在員が携行する薬等
 - ・抗体カクテル療法が利用できない国の駐在員は、重症化防止のために何ができるか
- (5) 重症化防止のための薬・療法の開発状況
 - ①抗体カクテル療法
 - ②経口剤等

【講師ご紹介】

- 館田 一博 氏 長崎大学医学部・同 大学院医学研究科卒業
米国ミシガン大学呼吸器内科学
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 教授 (2011 -)
日本感染症学会 理事長 (2017 - 2021.4)
日本臨床微生物学会 理事長 (2018-)
ICD 制度協議会 議長 (2017 - 2021)
新型コロナウイルス感染症対策分科会*委員
*「新型インフルエンザ等対策有識者会議」(閣議決定により設置)
の下に設置
- 氏家 無限 氏 昭和大学医学部卒業
長崎大学 熱帯医学研究所 COE 研究員
厚生労働省 健康局 結核感染症課課長補佐・国際感染症情報専門官
などを経て
国立国際医療研究センター 国際感染症センター トラベルクリニック
医長/予防接種支援センター長
- 大曲 貴夫 氏 佐賀医科大学医学部卒業
聖路加国際病院内科
米国テキサス大学ヒューストン校感染症科
静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 部長 等を経て
国立国際医療研究センター 理事長特任補佐
国際感染症センター長 感染症内科医長併任